

# 令和元年度がん教育総合支援事業 がん教育推進校実践報告

## 室蘭市立東明中学校

学級数：12(5)学級 生徒数：234(6)人

【実践テーマ】

保健体育科(保健分野)における実践研究「新学習指導要領への対応も含めた保健体育科の授業実践」

### 授業実践：

保健体育科(保健分野)：4章「健康な生活と病気の予防」 5 生活習慣病とその予防

○対象学年：第3学年

○使用教材：文部科学省委託事業「がん教育プログラム」  
(本時のねらいに合わせて、一部を活用)

○本時の流れ：

- 1 導入(「がん」について考える時間であることを確認)
- 2 がんの原因のグラフから、生活習慣が関係していることを確認する。
  - ・がんを予防するための生活について考える。
  - ・身近な人へのアドバイスを考える。
- 3 がん検診の受診率の現状を理解する。
  - ・がん検診の必要性や受診率が低い現状について考える。
  - ・大切な人に、がん検診の受診を勧めるキーワードを考える。
- 4 25年後の自分又は、大切な家族へ手紙を書く。



### 外部講師との連携：「がん教育」講話

※室蘭市がん教育推進事業と連携した取組

○講師 市立室蘭総合病院 院長 金戸宏行 氏

○対象学年・人数 第3学年・95人

(感想より)

今回の授業を通して、将来の自分や親に、定期的に検診を受けてもらいたいと思った。今からできること、健康的な生活習慣を心がけていきたい。



### 広報・啓発

保健室前掲示板や生徒玄関に設置したモニターを活用

当該学年以外の生徒や教職員への啓蒙に有効



### 成果と課題

- 一定の期間に、外部講師による講話や保健体育科における学習、校内掲示等による啓蒙活動などを関連付けながら実施したことは、効果的であった。
- 教科横断的な視点で「がん教育全体計画」を作成したが、実際の取組は各教科等がそれぞれの指導計画に基づいて実施していることから、内容や時期の調整を図るためにも、年間を通した全体の指導計画を作成する必要がある。